

台風 17 号による浸水被害を受けた四日市での災害ボランティアの報告  
～三重県四日市市楠町 2012 年 10 月 4・7 日～

四日市東日本大震災支援の会  
四日市大学総合政策学部総合政策学科 2 年  
森 正成

支援の会では、2012 年 9 月 30 日の台風 17 号により浸水被害を受けた四日市市楠町において、10 月 4 日(木)に四日市大学サッカー部の 5 名が現地に入り、継続して 10 月 7 日(日)に四日市大学東日本大震災支援の会(四日市大学から 6 名と四日市看護医療大学から 2 名)の少数を派遣し災害ボランティア活動を行いました。

現地では、被災家屋の片付けを行い、そのゴミの仕分けを行いました。畳から自転車など様々な生活用品、まだ使えるものまで、そして危険物(ガラス、ガスボンベ)などもありました。思い出の詰まった品々ですが、残念ながら廃棄処分をせざるを得ません。心が痛みます。扉などはガラスがついているものも多いため怪我をしないように作業に当たりました。手を切る恐れがあるので軍手や安全靴を履いて作業にあたりました。両日とも気温が高く、熱中症の予防のため、お茶・スポーツ飲料を持ち込み作業にあたりました

被災家屋の片付け・清掃の作業を行うのは、東北での昨年 7 月、東紀州での 10 月以来の活動であり、我々、四日市東日本大震災支援の会は、いつでも災害派遣が行える組織として、普段から準備をし、意識を高めておく必要があると実感した活動でした。このボランティアを通して、他のボランティア団体や個人の皆様にボランティア意識や防災意識を持っていただけたら嬉しいと思います。

最後に、派遣に参加した四日市大学サッカー部、四日市東日本大震災支援の会、四日市看護医療大学から参加された皆様ほんとうにおつかれさまでした。

